

令和2年度岡崎市立六ツ美西部小学校部活動に係る活動方針

1 本校の現状

- 児童の意識……教育活動診断では、9割近くが楽しみにしていると回答
- 保護者の意識……教育活動診断では、9割を超える方が部活動に肯定的な回答
- 対象者……4年生以上の希望者
- 最終下校時刻……最長17時（活動終了は最長16時45分）

2 本校における課題

- 指導者……専門的知識・技能の不足と教師の勤務時間の超過
- 児童……希望制が招く部活動間の部員数の偏り
- 施設……活動場所不足（4年生を中心に活動が不十分となる児童有）
- 大会……開催される大会やコンクールの数の違い

3 具体的な活動方針

（1）部活動の目的

- スポーツや文化的な活動を通じて、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成をめざす。
- 児童同士、教師と児童のふれあいを通じて、所属感や連帯感を高め、学校全体の一体感の醸成を図る。

（2）部活動の運営について

- 学校の体制……顧問複数配置による児童の安全確保、きめ細やかな指導、教員の負担軽減と、計画的な指導者の育成
- 校長の役割……活動時間と活動内容の管理による児童の育成と児童・教員の健康の保持増進
- 顧問の役割……自発的・自主的な活動のもと、スポーツや文化的な活動の楽しさや喜びを味わえる指導の追究
- 保護者理解……開かれた部活動を目指す中で信頼感を高め、保護者の理解や支援のもと、児童を育成する体制づくり

（3）活動量について

- 平日……始業前は活動しない。活動可能時刻は最大16時45分までとする。原則、木曜日を休養日とする。
- 休日……原則、土日のいずれかを休養日とし、活動時間は、最大3時間以内とする。原則、第3日曜日（家庭の日）は活動しない。
- 長期休業……原則、土日は活動しない。活動時間は、最大3時間以内とする。

（4）その他

- 安全安心を確保するため、環境面の整備や管理に努めるとともに、高温・落雷などの気象状況に合わせた対応できるように、校長を中心とした管理体制を整える。
- 緊急時の対応を迅速に行えるようにするため、校内の連絡体制の整備や医療機関の開設状況の把握を確実に行う。